

各種健(検)診

加入している公的医療保険の種類に関係なく受診できます 固保健センター

費用は表のとおり。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険室へ、市民税非課税・生活保護世帯は受診日の2週間前までに保健センターへ申請すれば、いずれも無料です。

保健センターの検診	胃がん検診	1000円	35歳以上。X線検査。	8月3日(木)、4日(金)、16日(水)、17日(木)、21日(月)、29日(火)、31日(木)	保健センターで。午前9時～10時30分。年に1度、誕生月に限らず受診できます。☑郵送かファックスかメールに検診名、希望日、住所、名前、性別、生年月日、年齢、電話番号を書いて保健センターへ。7月14日(金)必着。多数の場合は翌月以降になる場合があります。案内は検診日の2週間前までに送ります。
	大腸がん検診	300円	40歳以上。便潜血反応検査。		
	肺がん検診	400円	40歳以上。X線検査。喀痰検査は問診・診察の結果、必要な人のみ別途500円。	8月16日(水)、17日(木)、29日(火)	

市内の協力医療機関で受診できる健(検)診	30歳代健康診査	無料	30～39歳。血圧測定、尿検査、血液検査など。	記載のないものは年に1度。誕生月か、その翌月に受診してください。☑直接、協力医療機関へ。	
	成人歯科健康診査	700円	30歳以上。15歳以上の障がい者は通年受診できます。		
	乳がん検診	2年に1度	1000円		30～39歳の女性。視触診のみ。
	子宮がん検診	500円	40歳以上の女性で、生まれ年が西暦で奇数年の人。マンモグラフィと視触診。		
	大腸がん検診	300円	40歳以上。便潜血反応検査。		
	肺がん検診	65歳以上の人は	400円		40歳以上。X線検査。喀痰検査は問診・診察の結果、必要な人のみ別途500円。
	結核検診	いずれかを受診	無料		65歳以上。X線検査。
	B型・C型肝炎ウイルス検診	無料	昭和52年以前の生まれでB型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。血液検査。		
	前立腺がん検診	700円	50歳以上の男性。血液検査。		
	ペプシノゲン胃検診	5年に1度	300円		昭和27・32・37・42・47・52年生まれの人。血液検査。
骨粗しょう症検診	1000円	20～70歳で、今年の誕生日で年齢の下1桁の数字が0か5の人。			
聴力検診	500円	昭和22・27・32・37・42年生まれの人。			

国保・後期高齢者医療の健診

固国民健康保険室

吹田市国保健康診査(特定健診)

40～74歳で吹田市国民健康保険の加入者。身体測定、尿検査、血液検査など。無料。対象者には誕生月の前月末に受診票を送ります。誕生月かその翌月に受診できない場合や今年4月2日以降の加入者は同室へ問い合わせください。

国保以外の保険の加入者は加入している健康保険の保険者へ問い合わせください。

後期高齢者医療健康診査

後期高齢者医療制度の加入者。身体測定、尿検査、血液検査など。無料。対象者には大阪府後期高齢者医療広域連合から受診券を送っています。新たに75歳になる人には誕生月の翌月に送ります。

保健所の検査・相談

所固吹田保健所

予約・日時などは問い合わせください。

HIV抗体検査 匿名可。診断書は発行しません。同保健所で月3回実施。夜間、土・日曜日はchot CASTなんば(地下鉄なんば駅)で実施。

風しん抗体検査 妊娠を希望する女性とその夫、妊婦の夫。月2回実施。予約制。

肝炎ウイルス検査 B型肝炎とC型肝炎。20歳以上40歳未満で同検査未受診の人。月1回実施。予約制。

こころの健康相談 統合失調症や気分障がい、アルコール依存症、認知症など。予約制。

医療相談 医療機関に関する相談や苦情など。医療機関のある地域の保健所で。電話相談は月～金曜日午前9時15分～午後0時15分、午後1時～4時。祝・休日は除く。面談は予約制。

健康電話相談

専用電話(保健センター内☎6339・1218)
妊娠、育児、生活習慣病の予防や健康上の悩みなど。月・水・金曜日午前10時～正午。祝・休日は除く。
保健栄養相談 健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。保健師、栄養士が面接相談。予約制。☑電話で保健センターへ。

相談

口腔(こうくう)ケアセンターの催し

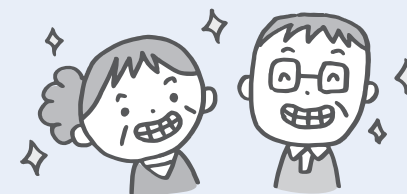
無料。☑7月3日(月)から電話かファックスに催し名、住所、名前、年齢、電話番号を書いて同センターへ。

障がい者向け	障がい者(児)のお口のケアとリハビリテーション 口腔の健康度チェックと指導。8月20日(日)午前10時～正午。☑先着10人。
高齢者向け	イキイキお口のケア相談 口腔清掃などの相談。8月20日(日)午前10時～正午。☑先着10人。 お口の健康体操教室 歯科衛生士と音楽療法士による口の体操など。口腔機能や摂食嚥下に不安のある人が対象。8月22日(火)午後1時30分～3時。☑40人。多数抽選。7月24日(月)必着。

保健情報

80歳で20本 高齢者よい歯のコンクール

いつまでも自分の歯で食べる楽しみを味わえるように、80歳になっても20本以上自分の歯を保ちましょう。
時9月10日(日)午後3時～4時。所千里市民センター大ホール。対平成29年8月7日(月)現在、80歳以上で自分の歯が20本以上あり、当日会場に来場できる初参加の人。
申8月8日(火)までに吹田市歯科医師会(☎6389・1865☎6389・3387)へ。
固同会が保健センター。



乳児期の即時型食物アレルギーについて

近年、子どもの食物アレルギーは生活環境の変化とともに増加傾向を示しています。その中で最も多い時期は1歳ごろまでの乳児期であり、0歳児での発症率は5～10%といわれています。類型は食べから2時間以内で出現する即時型が多く、原因としては鶏卵、牛乳、小麦の3つが全体の9割を占めます。症状の多くはじんましんなどの皮膚・粘膜症状で、子どもの成長とともに改善することが知られており、鶏卵の場合は小学校卒業までに8割が治るといわれています。一方、まれにアナフィラキシーといって食後30分くらいに全身に強い症状が出ることもあり、その場合は速やかに医療機関を受診する必要があります。食物アレルギーの原因食材を特定するには詳しい聞き取りが最も重要です。確実な診断は食物経口負荷試験しかありませんが、限られた施設で行われていないため、主

に重症の子どもの対象になります。一般的な血液アレルギー検査だけでは、確実な診断が難しいことに注意が必要です。検査が陽性の結果でも症状が全くない場合、食事から原因の食材を取り除くか、慎重に判断する必要があります。軽症の子どもは、かかりつけ医で適切な離乳食の進め方、皮膚のケア、通所施設との連携、専門医の紹介などの診察を受けることができます。また、吹田市の保健センターでは予約制の「子どもアレルギー専門相談」が毎月末就学児を対象に行われており、希望者には利用をお勧めしています。

